

ふくしのまち福岡



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会

南区社協事務所（南区社会福祉協議会）

福岡市南区塩原 3-25-1 南区役所別館1階

TEL:092-554-1039 FAX:092-557-4068

Eメール:minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここと



地域で支える様々な見守りのカタチ



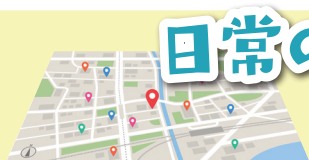
生活支援ボランティアで 「ゆるやかな見守り」



生活支援ボランティアとは、公的なサービスだけでは対処できない日常の“ちょっとした困りごと”を住民同士の助け合いで解決するボランティア活動です。

西高宮校区社協では、平成21年から生活支援ボランティアグループ「ちよいぼう西高宮」を結成し、校区内の高齢者・障がい者等を対象にゴミ出しや電球交換等の活動をしています。現在約30名が活動者として登録し、令和6年度は年間約100件のボランティア活動を実施しました。

グループのメンバーは、「ちよいぼう西高宮の活動の際は、高齢者等と自宅で直接顔を合わせるので、日頃は聞けないお困りごとを把握するきっかけになったり安否確認の機会にもなっています」と、活動を通して地域の見守りの輪も広がっていることを実感しています。



日常のつながりから、 災害時の助け合いへ



福岡市社協では一人暮らしの高齢者等、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域で日常的な見守り等を行なう「ふれあいネットワーク活動」を支援しています。

また、日頃の見守り体制を活かして、災害時にも地域で助け合いができるよう、区役所とも連携しながら、各地域での話し合いや体制づくりも進めています。



弥永西校区では、令和7年1月、校区の関係団体で集まり、体制づくりのワークショップを行ないました。地域で災害時に支援を必要とする高齢者・障がい者等の名簿（避難行動要支援者名簿）を活用し、名簿に載っている人を地図に落とし込む「見守りマップ」づくりや、「どこに避難するか」「誰が避難の支援をするか」等の情報を記載する「個別避難計画」の作成を通じて、校区の関係団体間で活発な意見交換が行なわれ、ボランティアを増やしていく必要性や町内単位での情報共有の機会を持つ重要性等を再認識する機会となりました。

今後も生活支援ボランティアやふれあいネットワークなど、
地域での助け合いや見守り活動に力を入れていきます。

みんなの居場所「地域カフェ」

地域カフェは、地域の中の「居場所」として、人と人が交流することを目的に、ボランティアにより実施されています。地域カフェには多様な在り方があり、年代や性別を問わず住民の誰もが気軽に参加できる場であるため、新たな交流の場、地域とつながるきっかけの場にもなっています。

東若久校区では「東若久公民館」「東若久老人いこいの家」「東若久2区新町集会所」「福岡100プラザ南」の4カ所で地域カフェを開催しています。

公民館で開催されている「カフェ・ド・パピヨン」では、お茶菓子を食べながら会話を楽しむだけでなく、音楽鑑賞等の催し物を企画して、地域のみなさんが楽しめる居場所づくりを行なっています。令和7年3月には、公民館の屋上や桜の見える部屋を利用し、「お花見カフェ」が開かれました。参加した方は、桜を見ながら歌や踊りを楽しまれていました。

主催者である東若久公民館の安武館長は、「公民館が気軽に立ち寄ってもらえる居場所になってほしい。地域カフェを通して、地域住民の方が元気になって、笑顔で帰ってほしい」との思いを話されました。



▲公民館ロビーで楽しく茶話会



▲公民館屋上で桜と踊りを楽しむ様子

ご寄付ありがとうございました

マックスバリュ井尻駅前店から、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」による44,500円分のギフトカードを寄贈いただき、福岡市社協で困窮者支援として緊急一時的に提供する食品の購入に活用させていただきました。

ありがとうございました。



マックスバリュ エクスプレス



賛助会費（お礼とご報告）

賛助会員の皆様 ありがとうございました

令和6年度福岡市社会福祉協議会南区社協事務所賛助会費にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

令和6年度賛助会費総額
5,782,500円

賛助会費は南区の各校区の地域福祉活動等に活用させていただきます。

令和7年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

賛助会員を 募集しています

個人

1口

500円

法人・団体

1口

10,000円

